
【婚活者アンケート調査】
育児に自信がある男性は4割を超えるも、
うち「女性がメインの育児」を理想とする男性は42.6%。

～結婚後の出産育児に関する共同意識調査～

2015年7月1日
婚活サポートコンソーシアム
事務局長 石坂 茂

婚活サポートコンソーシアムの参加企業である、株式会社IBJ(本社:東京都新宿区西新宿、代表:石坂 茂、証券コード:6071。以下、IBJ)と、『ルナルナ』を運営する、株式会社エムティーアイ(本社:東京都新宿区西新宿、代表:前多 俊宏、証券コード:9438。以下、エムティーアイ)は婚活サポートコンソーシアムの活動の一環として、IBJの婚活サービスを利用中の未婚男女480名を対象に「結婚後の出産育児に関する意識調査」について、共同意識調査を実施いたしました。

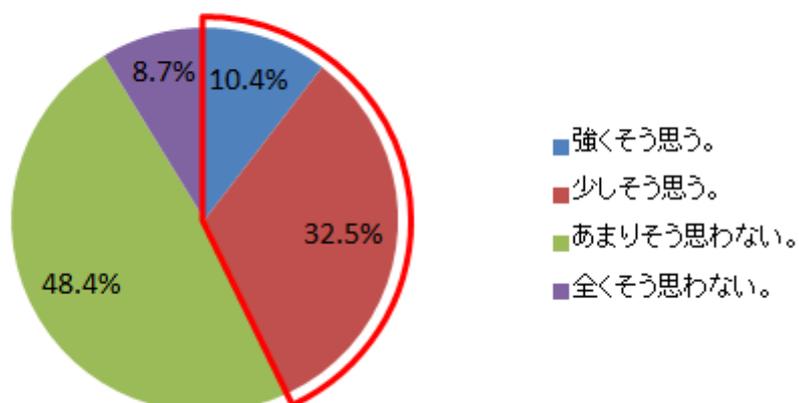
<調査概要>

- ・調査主体:株式会社IBJ、株式会社エムティーアイ
- ・調査期間:6月12日(金)~18日(木)
- ・調査対象:IBJの婚活サービスを利用の20代~30代の未婚男女を対象にアンケートを実施。「結婚後の出産育児に関する共同意識調査」を行った。
- ・N値:男性126名、女性354名、合計480名

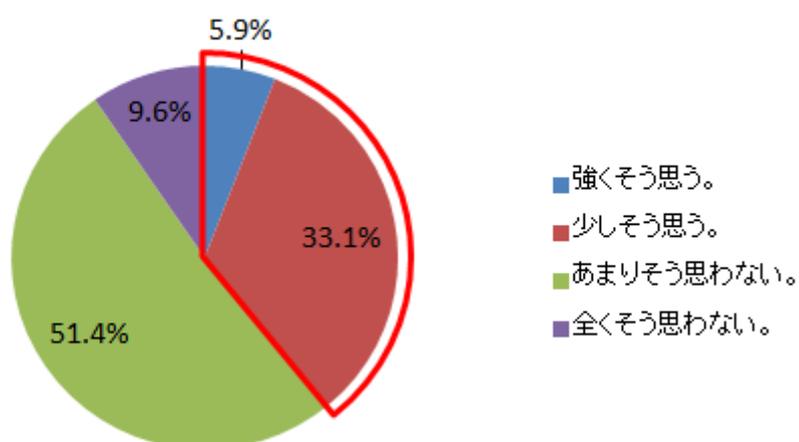
■どこまでがイクメン?出産・育児に対して男性は楽観的、女性は現実的に捉える傾向あり。

・今回の調査では、婚活・妊娠・出産・育児の視点から男女へ意識調査を行いました。そのうち、「育児に自信がある」と回答したのは男性の42.9%と女性の39.0%と比較して3.9ポイント多いという事がわかりました。

【男性】あなたは育児に自信はありますか？

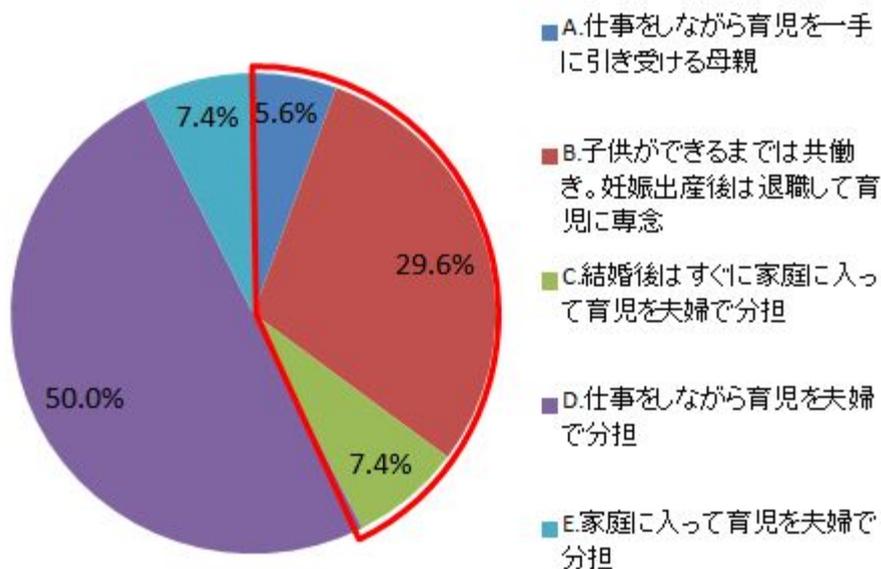


【女性】あなたは育児に自信はありますか？



・育児に自信があると回答した男性のうち、母親の仕事の有無にかかわらず、「育児をほとんど行う母親」を理想としている男性が42.6%いました。

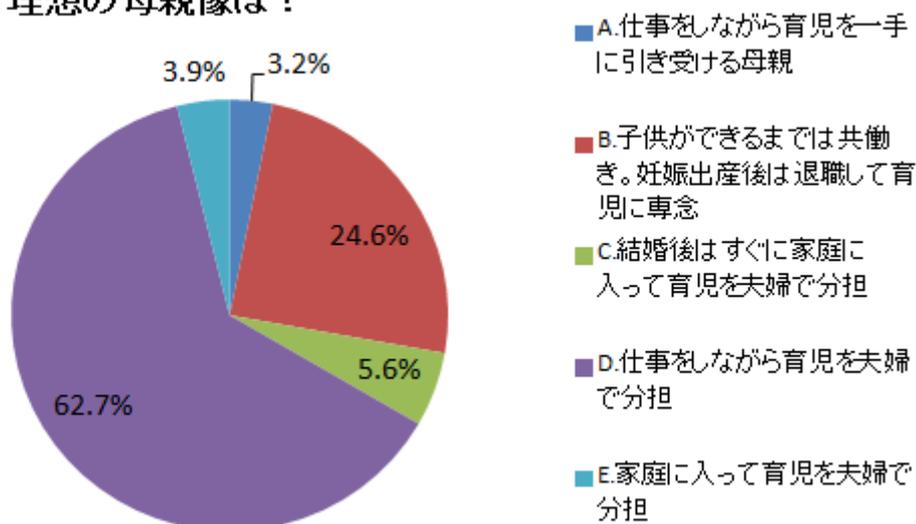
「育児に自信がある」と回答した男性の理想の母親像



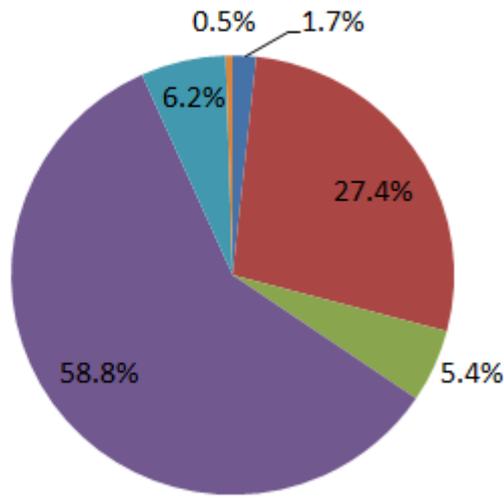
■出産・育児に夢を見る男性、覚悟をする女性。理想の出産・育児スタイルのギャップ

・これに関連して、男女ともに「共働きをしながら育児を父親と分担する母親」を理想とする意見が多いものの、父親が積極的に行いたい育児で人気があるのは「入浴」と「子供と遊ぶ」に回答数が集中し、「寝かしつけ」「送り迎え」「食事」「オムツ換え」といった手間や時間のかかりそうなものに関しては回答数が少ないことから、母親がメインで育児をする意識は男女ともに高いようです。

【男性】理想の母親像は？



【女性】理想の母親像は？

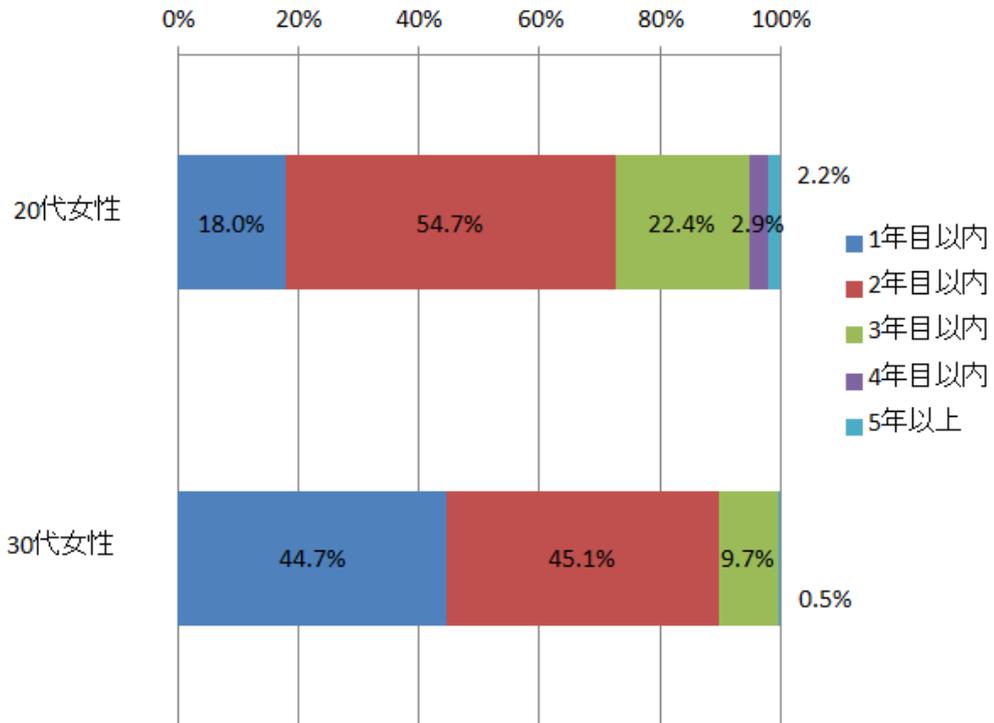


- A. 仕事をしながら育児を一手に引き受ける母親
- B. 子供ができるまでは共働き。妊娠出産後は退職して育児に専念
- C. 結婚後はすぐに家庭に入って育児を夫婦で分担
- D. 仕事をしながら育児を夫婦で分担
- E. 家庭に入って育児を夫婦で分担
- F. 仕事をしながら育児を全て父親に任せる母親

男性に任せたい（男性は積極的に行いたい）育児		
	男性	女性
オムツ替え	7.9%	4.2%
子供と遊ぶ	56.4%	53.5%
入浴	23.8%	28.2%
食事	1.6%	1.1%
寝かしつけ	2.4%	3.1%
託児施設への送り迎え	7.9%	8.2%
その他	なし	1.7%

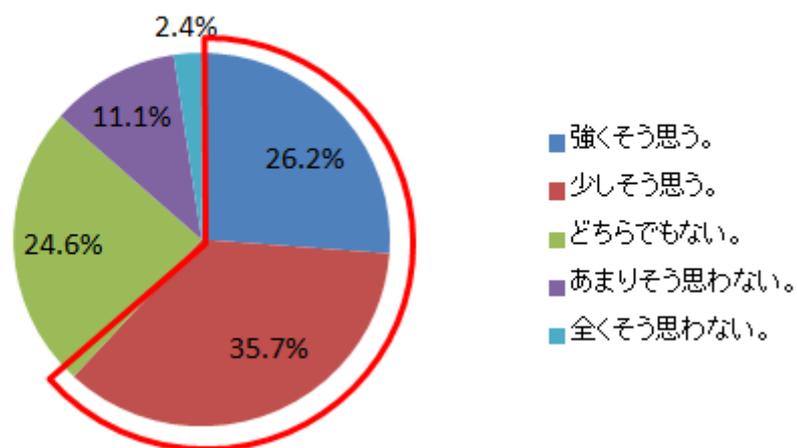
・結婚から第一子出産までの理想の期間を調べると、女性は30代を境に「1年以内」を選択している人数が急増することからも、出産に対して女性の方が年齢を考慮して現実的かつ若干シビアな視線を持って覚悟をしている傾向があると言えます。

結婚から第一子出産までの理想の期間

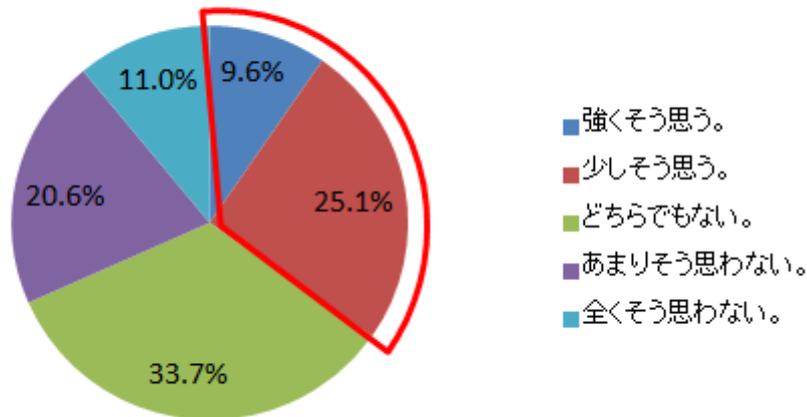


・なお、出産時の父親の立会いに関しては、男性の 61.9%が希望する一方、女性で希望しているのは 34.7%と、27.2 ポイントの開きが出ていることから、女性は男性が思っているほど父親の出産への立会いを希望していないようです。

【男性】妻の出産への立会いを希望しますか？



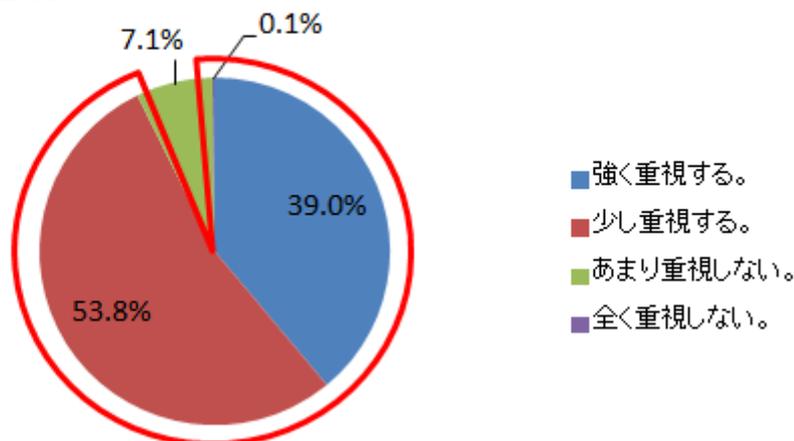
【女性】出産に夫の立会いを希望しますか？



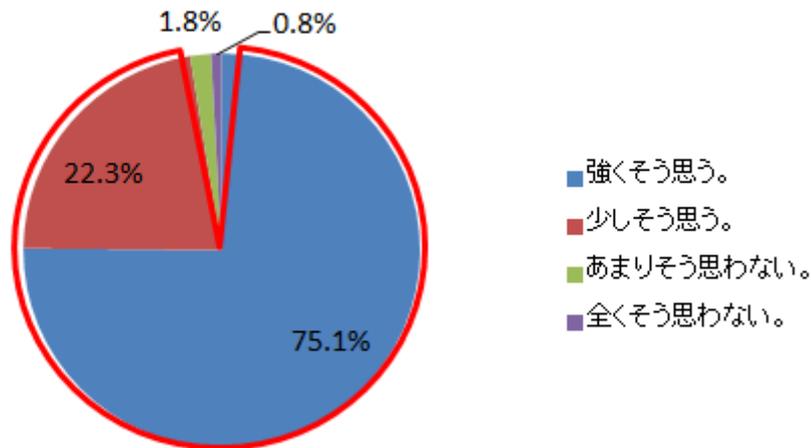
■イクメンが求められる時代に、出産・育児に対する男女間のギャップを埋める事が成婚へのひとつの道か。

男女の 92.8%が「育児への相手との価値観の一致不一致は婚活に影響する」と回答しており、さらに女性の 97.4%が「育児を積極的に行う男性に魅力を感じる」と回答しています。これらのことから、女性は自分の年齢や育児に対しての現実的な視線を持ち不安を感じているからこそ、価値観の合う育児に積極的な男性に魅力を感じている事が汲み取れます。男性は入浴や子供と遊ぶことだけで育児を分担しているつもりになるのではなく、もう一歩踏み込んで自分が担当したい育児の範囲を広げていく意識を持つ事が成婚への道につながると言えるでしょう。

出産・子育ての価値観の一致不一致は、婚活で重視しますか？



家事育児に積極的な男性は魅力的だと思いますか？



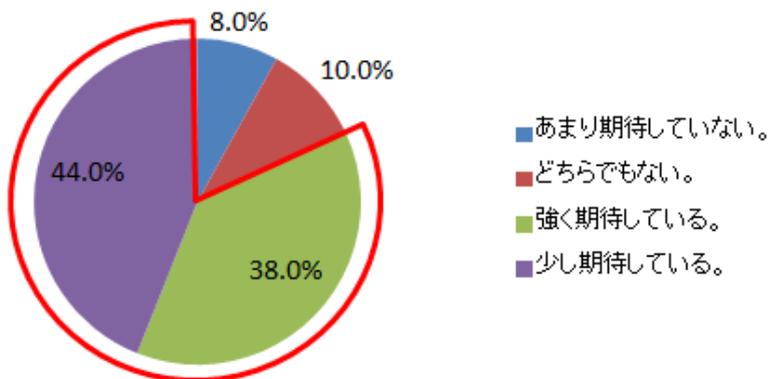
■その他

・ 子供が好きではない、または好きでも嫌いでもないと回答した男女の内、82.0%が「親が孫を楽しみにしている」と回答しています。

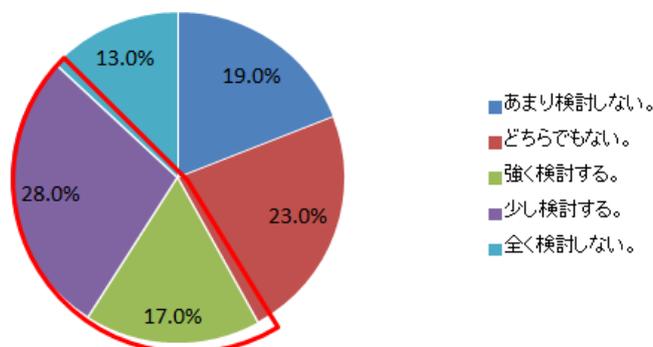
・ 子供が好きではない、または好きでも嫌いでもないと回答した男女の内、45.0%が「理想の出産時期を過ぎたら不妊治療を検討する」と回答しています。

これらのことから、本人の子供の好き嫌いに関わらず、親からのプレッシャーが要因で、妊活や不妊治療を検討している方もいると考えられます。

子供が「全く好きではない」「あまり好きではない」「どちらでもない」と回答した男女の親の孫への期待



子供が「全く好きではない」「あまり好きではない」「どちらでもない」と回答した男女に聞ク、不妊治療の検討可否



婚活サポートコンソーシアムは、今後も皆様のライフスタイルが豊かになるよう、参画企業間の共同調査レポートを発表してまいります。

■婚活サポートコンソーシアム (<http://konkatsu-support.jp/>) について

2015年1月に発足した、10社からなる民間事業者協議会。日本の少子化という社会課題に対して婚活サポートの側面から調査分析に基づいた情報発信などを行い社会意識の向上と公共の福祉に寄与することを目的としています。6月21日(日)には、小泉進次郎さん、古市憲寿さんら次世代キーパーソンをゲストに招いた「第一回婚活シンポジウム」を開催し、闊達なトークセッションを実施しました。

開催レポート URL

<http://konkatsu-support.jp/symposium/report/20150621.html#main-images>

婚活サポートコンソーシアム事務局（株式会社IBJ内）に関するお問い合わせ

担当：常見・小野

TEL 03-5324-5666 FAX 03-5324-5667

MAIL info@konkatsu-support.jp

・婚活サポートコンソーシアム運営事務局：株式会社IBJ

・本社

〒160-0023

東京都新宿区西新宿1-23-7 新宿ファーストウエスト12F

※本情報を利用、転載する場合は事前に下記連絡先までご連絡願います。

株式会社 IBJ PR 担当：嶋岡 紀美江

TEL：03-5324-5666（代表）

MAIL：pr@ibjapan.jp